



みんながつながり 夢を育てる学校に

国立二小だより

平成30年6月29日
国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人

心に刻まれた思い出

WE CAN DO IT !

校長 小林 理人

6年生の日光移動教室は、今年も晴天に恵まれ計画通り実施することができました。2日目のグループハイキングでは、子供たちが小田代ヶ原から湯ノ湖までの約4時間の活動計画を考え、実行しました。初めて歩くコースで大自然のすばらしさに圧倒されました。また、一緒に過ごした友達の温かさも感じました。想定外の出来事や友達との意見の食い違いなどの困難も乗り越えました。そして、様々なことが思い出として心に刻まれました。



「ハイキング 苦難にあいつつ 助け合い みんなの顔に 笑顔の花咲く」
「すばらしい 自然の中で 生きてゆく この喜びを かみしめていく」

これはゴールとなった湯ノ湖で、自分たちの気持ちを表現したあるグループの短歌です。これまで培った友達との絆や、大自然で味わった感動、「自ら考え行動すること」「友達と一緒に楽しい時間を過ごすこと」を達成した喜びなどを表現しました。

3日間の行程を終えて、国立駅から大きな荷物を抱えながら学校に向かいました。疲れた体には長い道のりでしたが、交差点で迎えてくれた保護者や教員の皆様の「おかえりなさい」の言葉や笑顔で子供たちの背筋が伸びて堂々とした姿になりました。大きなことを成し遂げて「凱旋」する子供たちの姿を最後尾から見ながら、大きな成長を感じました。

学校に到着すると、たくさんの保護者の皆様や教職員が温かく迎えてくれました。そして、「おかえりなさい」の言葉が取り付けられた土壇で、移動教室を締めくくる帰校式を行いました。代表児童の言葉には、自分たちが掲げた「心に刻む思い出をつくろう」という目標が達成できた喜びや、自分たちを支えてくれたたくさんの人たちへの感謝の気持ちが込められていました。二小の校庭は子供たちの成長を喜ぶ温かい拍手に包まれました。

子供たちが下校したあと、校舎内を見回りました。6年生の教室に入ると黒板に張られた模造紙が目にとまりました。それは、1年生が「6年生おかえりなさい」の気持ちを込めてつくったメッセージでした。1年生は、これまで自分たちを支えてくれた6年生への感謝の気持ちを、絵や言葉で伝えました。そして、温かく迎えてくれた人たちの真心も、忘れることのできない思い出として6年生の心に深く刻まれたことでしょう。



1学期のまとめの月となる7月は「**成長**」という言葉を意識していきます。そして、子供たちが「できるようになったこと」や「レベルアップしたこと」に気付くようにしたり、それを認め励ましたりすることで、成長、飛躍へとつなげる月にしていきます。ご家庭でもこの絶好のタイミングを生かしていただき、成長、飛躍につながる言葉かけをお願いいたします。